

令和3年4月1日（木）

**「佐渡島の金山」世界遺産推薦書原案提出
【佐渡市長コメント】**

3月31日に、文化庁へ佐渡金銀山の「世界遺産推薦書原案」を提出いたしました。

佐渡市は、平成16年の市制施行以来、島の宝である「佐渡金銀山」の世界遺産登録を目指してまいりました。

これまでの間、新潟県と共に国内候補選定に向けた推薦書原案の作成に力をそそぎ、国内外の専門家の指導・助言を受けながら、内容のブラッシュアップを進めてきました。

今回の推薦書原案は、これまでの顕著な普遍的価値そのものに変更はないものの、徳川幕府の管理・運営の下で行われた伝統的な手工業による金生産システムについて、ヨーロッパとの違いを明確化し、ビジュアルでよりわかりやすい内容といたしました。

この世界に誇れる「佐渡金銀山」と、人とトキが共生し歴史と文化が薫る佐渡島を未来に継承していくためにも、国内候補選定と令和5年度の世界遺産本登録を目指して確実に取組を進めてまいりますので、今後とも皆様方の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和3年 4月1日

佐渡市長 渡辺 竜五